白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol. 694

令和元年11月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集
新しい視点で取り組む
大山乳業農協の宅配セールス

現場潜入
大山乳業農協の
クリスマスケーキができるまで

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

新しい視点で取り組む 大山乳業農協の宅配セールス

大山乳業農協の新しい提案 健康測定 × 宅配牛乳

「毎日牛乳飲んでるからね」「自信ないなぁ」「え？意外！もっと牛乳飲まないといけないね」

聞こえてくる様々な声の先には、骨の健康チェックと書かれたのぼり。

先日行われた大山乳業農協の工場見学通路開放デーに骨の健康度測定機器「骨ウェーブ」のコーナーが設置されました。この日は老若男女問わず多くの方が来場し、このコーナーに列をつくりました。

測定中、スタッフが「牛乳は普段飲まれますか？」など話しかけたり、骨の健康度を上げるポイントを説明すると、皆さん耳を傾けてくださいます。測定が終わると白バラ牛乳２００mlをプレゼント。子どもたちの中には、早速ゴクゴクと飲んでいる姿も。家族でお互いの骨の健康度を確かめ合う姿が印象的でした。

今、この骨ウェーブが大山乳業農協の宅配牛乳のセールスに一役買っているとのこと。

今回は骨ウェーブを使った健康測定と宅配牛乳を組み合わせた営業課の新たな取り組みを紹介します。

気になるけど、意外と知らない 目には見えない「骨の健康」

①牛乳や乳製品等の食事
②運動
③日光浴をしっかり行う

これは全て「骨の健康」に大事な要素です。健康は1日にしてならずという言葉があるように、骨の健康も毎日の積み重ねが重要ですが、体型や体重といった目に見える健康基準と違い、骨は目に見えないため、骨の健康を維持するのは難しく、多くの人が何かしらの不安要素があるようです。

そこで、見えない骨の健康を可視化する機器が骨ウェーブです。

チェック方法は至って簡単。手首のトウ骨に妊婦検査などにも使われる超音波を伝播させ透過した波形から骨の強さを算出します。結果はAからEの5段階で判定されるだけでなく、出力される結果にはアドバイスも書かれています。

骨ウェーブは薬局や健康測定イベントなどで使われている機器ですが、関東エリアの牛乳販売店でイベント営業にも活用されているそうです。

骨の健康とは切っても切れない牛乳のPRに活用するだけでなく、宅配牛乳のセールスを後押しする取り組みをスタートさせました。

良質の製品を求める方へ 1つでも多くの製品を

近年、白バラ牛乳がメディアに露出する機会も増え、量販店で白バラ牛乳を購入してくださるお客様が増えていることを実感する一方、宅配牛乳の利用者数は伸び悩んでいます。

私達が大切にしている「安心・安全・おいしい」を求めてくださる方に宅配牛乳を是非飲んでいただきたいんです、と営業課のスタッフは言います。

しかし、宅配牛乳のセールスは訪問が主で、若い世代は共働きが多いため、訪問してもお会いできないことが多く、在宅されていても防犯のためにセールスを断る方もおられ、昔のように宅配牛乳の良さを伝える機会が少なくなっているのが現状です。

訪問以外のセールス方法を模索する中で骨ウェーブの運用を始めました。

現在の主な活用方法は、イベント会場で骨の健康度チェックを行い、お客様に定期的に牛乳や乳製品を摂るなどの食事を含めた見直しのきっかけをアドバイスし、さらに生活習慣などからそれぞれの方に合わせた宅配商品の提案をしていくという方法です。

イベントで骨ウェーブコーナーを担当している営業課の松尾さんは、「一言で牛乳といっても、沢山の製品の中から自分に合った製品を見つけるのは難しいです。好みも含めて〝毎日おいしく健康〟を意識して習慣化してもらえるものを選んでいただきたいです。また、牛乳が苦手な方にも乳飲料や発酵乳の提案ができれば」と骨ウェーブを取り入れた製品提案の取り組みへの意欲を見せてくださいました。

骨ウェーブが広げる新しいセールスの形

10月19日に岡山で開催されたイベントでも骨ウェーブのコーナーが設置されました。骨ウェーブのコーナーには多くの方が並び、骨の健康度チェックが行われました。ここでも骨の健康度と宅配製品を組み合わせた販促を行いました。

イベントでは、皆さんが骨ウェーブに興味を持ってくださるだけでなく、宅配製品カタログを見られる方や、自宅が宅配可能エリアか聞かれる場面もあり、取り組みの効果が表れている実感があったと言います。

現在、大山乳業農協で所有している機器は1台。今後は、各販売店で活用できる形を作っていく予定です。

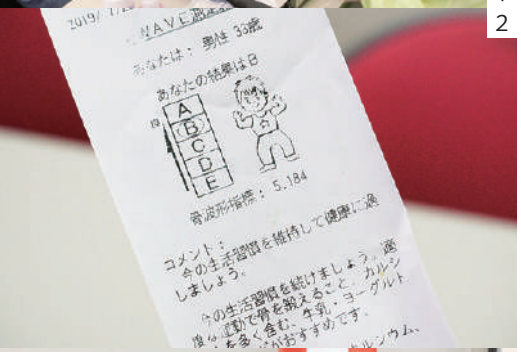
また、宅配に限らず量販店での測定会なども企画できればと考えているそうです。

骨ウェーブの使い方は、イベントだけに限りません。

将来的には宅配商品を知るきっかけにつながるだけでなく、宅配を利用しておられるお客様の骨の状態のチェック等のアフターフォローとしての活躍も期待できます。

多くの活用の可能性を秘めた骨ウェーブ。今回の取り組みは、まだ発展途上ですが、今後　多方面で活躍し牛乳の普及に力を貸してくれそうです。

既存のものを守ることと新たなものを取り入れたり組み合わせたりすることは容易ではありませんが、今後も新しい事を取り入れる探究心やウィットに富んだ新しい発想で生まれる相乗効果で大山乳業農協に新たな風が吹くのが楽しみです。



1. 測定は気軽に、どなたでも測定できます
2. 測定結果のアドバイスについても説明します
3. コーナーには宅配牛乳のパンフレットも
4. イベントには若い方も参加してくださいます
5. 測定コーナーでは宅配牛乳の説明も行います
6. イベントとセールスが連動した販促のようす

現場潜入

大山乳業農協のクリスマスケーキができるまで

＜メリークリスマス&トナカイ・ノエル編＞

菓子工場を彩る多彩なクリスマスケーキ

皆さんはクリスマスケーキの思い出はありますか？

私は幼い頃の思い出で、箱に入ったケーキを小窓から覗き、その小さな世界に散りばめられたデザインや飾りにワクワクした思い出があります。

大山乳業農協では今年のクリスマスケーキのラインナップも決定し、10月中旬を過ぎた頃から製造現場で華やかなケーキが次々と出来上がり始めました。

菓子工場の中では、沢山の種類の製品が作られますが、クリスマスケーキはクリームのフレーバーも多く、デコレーションも華やかで職人技が光る製品の1つです。

今年のラインナップは地域限定のアイスケーキを含め全9種類。大山乳業農協自慢のホイップクリームを堪能できるケーキをはじめ、バラエティ豊かなラインナップを取り揃えています。

その中から、営業課のクリスマスケーキ担当スタッフに今年のオススメを聞いたところ今年デザインをリニューアルした「メリークリスマス」と今年新たにラインナップに加わった「トナカイ・ノエル」とのこと。今回はこの2種類のケーキをご紹介します。

2019年クリスマスケーキラインナップ

可愛らしさを演出するメリークリスマスのこだわりデコレーション

デザインをリニューアルしたメリークリスマスは上品で口溶けの良いホイップクリームを使用し、上面には夜空に瞬く星をイメージしたデコレーション、サイドには手書きをほどこし華やかなケーキに仕上げました。

口溶けの良いホイップクリームはついつい食べ過ぎてしまうおいしさです。

3種類の絞り方でかわいらしさを演出したこだわりのデコレーションが特徴のメリークリスマスのように、何種類もの絞りを使ったケーキは大山乳業農協では珍しく、製造現場のスタッフと打ち合わせし試行錯誤を重ね実現させることが出来たそうです。

また、サイドの飾り付けはまるで職人技のよう。慎重かつ丁寧に飾り付け、表面のトッピングへ向かうといよいよ完成です。

デコレーションのようす

2色のクリームとスポンジにこだわったトナカイ・ノエル

今年新たに加わったトナカイ・ノエルは「2色のクリームを使ったケーキを作りたい！」という思いのもと製造現場のスタッフと打ち合わせし出来上がったケーキです。

上品で口溶けの良いホイップクリームとイチゴ風味のホイップクリームのデコレーションはそれぞれ1人1色づつ担当します。2色のクリームを使用することでより華やかさが増し、さらにピンク色のクリームで可愛らしさを演出しました。

また、スポンジは大山乳業農協の他のケーキに比べ卵感を強めたふんわりとしたカステラ風でクリームとの相性が良くなるようこだわりました。2色のクリームがアクセントになり、味はもちろん、スポンジの間（下層）にサンドされた黄桃など、見た目でも楽しめる一品が完成です。

今年のクリスマスも、安心・安全で美味しい大山乳業農協のクリスマスケーキで幸せなひとときをお過ごしください。

2色のクリームがたっぷり

総務課レポート
令和２年度新入職員内定者研修会が開催されました

10月12日（土）に令和２年度新入職員内定者研修会が開催されました。

研修会では、自己紹介と組合概要研修、先輩職員講話、製品の試飲試食などを行い内定者同士だけでなく、先輩職員とも交流も深めました。

先輩職員による講話では、今年入組した３名の新入職員が現在の担当業務や後輩へのアドバイスなどを発表しました。

内定者の皆さんは先輩職員の話に熱心に耳を傾けており、組合の一員として働くイメージがより鮮明になったのではないかと感じました。

来年度の新入職員の皆さんの成長を応援したいと思います。

令和２年度内定者の皆さんと新入職員の３名（左から、営業課 松尾さん、品質管理課 山根さん、製造管理課 大曲さん）

営業所レポート
白バラ牛乳ふれあい交流会 約５５０名が来場（岡山）

10月19日（土）岡山県倉敷市にて「白バラ牛乳ふれあい交流会」を初開催し、当初の予想を上回る約５５０名のお客様が来場されました。

今回のイベントは、宅配の白バラ牛乳ご愛飲の方への感謝や白バラ牛乳に馴染みのない方へ白バラ製品をＰＲする事を目的に開催し、製品の試飲・試食や販売、白バラ牛乳に関するクイズ、手作りバター体験、骨の健康チェックを行いました。

試飲では牛乳の味に驚いている姿が印象的だったほか、骨の健康チェックで測定をきっかけに牛乳に興味を持たれた方もおられました。

今後も取り組みを重ねて、大山乳業農協の牛乳を広めていきたいです。

予想をはるかに超えるお客様で会場は大いに賑わいました

牛乳普及協会レポート
牛乳・乳製品利用料理コンクール 鳥取県大会が開催されました

10月27日（日）鳥取短期大学を会場に牛乳・乳製品利用料理コンクール鳥取県大会が開催されました。

このコンクールは牛乳・乳製品の知識普及と消費促進を資することを目的としたもので、書類審査には県内の高校・短期大学から計２０４作品の応募があり、その中から10作品がこの度の鳥取県大会へ進みました。

審査の結果、最優秀賞の山本さん（米子南高校）と優秀賞の渡邉さん（鳥取短期大学）の２名が11月16日（土）に行われる中国地区大会へ出場します。

審査員からは、県内産の食材を取り入れ、普及性もあり良かったと全体の評価を頂きました。

中国大会に出場する２名は、さらに改良を加え中国大会に臨みます。

大葉香るカリッとカニクリ春巻き（山本さん作）

星シイタケとレンコン団子の呉汁（渡邉さん作）

総務課レポート
第46回消火競技会に参加 ペアの部で優勝

10月29日（火）に倉吉市の天神川河川防災ステーションで鳥取県中部危険物保安協会主催で第46回消火競技会が開催されました。

この大会は、火災発生時の初期消火の技術向上と危険物の保安に対する意識高揚を図ることを目的に実施されており、大山乳業農協からは４名が参加し、個人の部に３名、ペアの部に２組が出場しました。

競技の結果ペアの部で総務課 高見さん・営業課 松尾さんペアが優勝を飾りました。

また、同じくペアの部では、製造管理課 山﨑さん・大曲さんペアが３位となり、両ペアとも優秀な成績を残しました。

ペアの部で優勝した松尾さん・高見さん

品質管理通信
おしえて!ケーコさん
意外と知らない身近な「品質管理」

第７回　製品表示の今昔

皆さんは、食品を購入する際、何を基準に選んでいますか？ＣＭや、友だちの勧め、製品の一括表示中の原材料や栄養成分値等、あるいはアレルギー表示など人それぞれだと思います。

日本では、アレルギーを持っている人は５０年前にはほとんどいなかったそうですが、今や３人に１人が何らかのアレルギーを持っていると言われており、２００１年から食品へのアレルギー表示が義務付けられています。

ところで皆さん、表示は時の流れとともに変化しているというのをご存じですか？製品表示は一度決まったルールが永久に運用されることはなく、定期的に見直しをしながら、変更が加えられていきます。アレルギー表示も同じように、義務化が決まってから１８年の間に、対象品目の見直しが過去３回あり、そして、今年も９月に、新たにアーモンドが追加されました。製造者は、正確な情報を消費者に伝える使命があります。変更になるとすみやかに調査をし、そして必要であれば、表示を変更します。今、大山乳業農協も使用している原材料の中でアーモンドのアレルギーが含まれているものがないか、調査を進めているところです。

皆さんも機会があればぜひパッケージの製品表示を見てください。

食品の選び方が変わるかもしれません。

ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

ＪＡグループ鳥取では人権・同和問題に対して「第７次（2018～2020年度）ＪＡ鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第７次（2018～2020年度）の期間中、人権・同和問題に対する啓発記事を年４回連載します。

第17回「多様な性について考えよう」

みなさんは「ＬＧＢＴＱ」を知っていますか？「ＬＧＢＴ」はレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をつなげたもので、性的少数者の総称として、新聞記事等で見かけることも多くなってきました。では〝Ｑ〟とは…

「ＬＧＢＴＱ」の〝Ｑ〟はクエスチョニングの頭文字（※）です。クエスチョニングとは、自分の性別がわからない人や意図的に決めていない人、決まっていない人、模索中である人のことを指します。

「ＬＧＢＴ」の４つは、どれも「男性・女性」という２つの性別に基づいています。しかし、日本をはじめ世界中にいる「自分は男女どちらでもない」「自分は誰も愛することができない」といった、「ＬＧＢＴ」にあてはまらない人も数多くいます。

性は、男性／女性と明確に線引きできるものではなく、目に見えない曖昧さをもっています。曖昧さや言葉では言い得ない範囲も含めて、多様なセクシュアリティが存在することを、グラデーションという言葉で表現されます。

世の中には様々な人が存在し、どれが正解という決まりごとはありません。誰もがそれぞれの性のあり方を大切にし、それを他の人から否定されないという権利があります。私たちは、つい多数派の意見や状態を「あたりまえ」と考えがちです。また、自分の「知識不足」が知らないうちに誰かを傷つけているかもしれません。「これが普通」という固定的な考えを持つことなく、様々な人たちが一緒に暮らしていることを念頭に入れた社会づくりをしていきたいですね。

※このほかに〝Ｑ〟は性的少数者の総称を表す「クィア」という意味でも使われています。

私のオススメ

今秋の人事異動で岡山営業所から営業課に配属になりました永島です。

私のオススメは白バラシュークリームです。

幼少期、近くの商店で非冷蔵のシュークリームが番重にバラで40個入っていて、それをトングで挟み専用袋に入れて頂き歩きながら食べていた思い出があります。

食べ方としては、邪道かもしれませんが充填口の穴からクリームだけを吸込み、口の中一杯に練乳クリームの風味が広がりその後にパフを食べるのが大好きでした。れん乳シュークリームは、家族全員大ファンです。

３月末まで販売されますので皆さん、お近くのお店で是非お召し上がりください。

季節限定の味を皆さん是非!!

令和元年度　酪農生産研究会米国視察研修報告

全酪連「酪農生産研究会」主催の米国視察研修会に9月16日(月)から26日(木)までの11日間、北は岩手県から南は沖縄県まで16名が参加致しました。

サプライヤーそれぞれの信条の基に高品質な粗飼料生産を営む2社を紹介します。

【サプライヤー紹介1社目】

最初に訪れたのは、「アンダーソンへイ&グレイン社」。1960年に設立し、カナダとの国境に隣接するワシントン州に本社を構えています。3つの州に工場を保有し自社ブランドの強化を進め、年間通して安定的に高品質な粗飼料の提供に尽力しています。

日本へは1971年に輸出を開始し、品質向上・安全性の確保やトレーサビリティーの確立等では業界のリーダー的存在です。

工場内の設備は、スケールが大きいのが印象的で、工場は効率よく作業を行う事を考えた機械の配置でした。

また、製品原料のトレースの管理や、作業員の目視での検品だけでなく、購入者目線の品質管理に努めているとの事でした。

原牧草倉庫(写真上)の他にも外来生物侵入防止の為の燻蒸庫など複数の倉庫が立ち並んでいました

ビッグベールプレスマシーン(写真上)や、ハーフベイル・混合マシーン等複数の機械がありました

その後訪れた生産圃場では、牧草の葉着きを良くするためベーリングを朝露の残る早朝に行っていることや、製品にするまでに30日間程かかる事などの説明を受けました。

手間と日数をかけて作られている事を改めて実感しました。

原牧草スタック(保管)のようす

【サプライヤー紹介2社目】

2社目は1966年設立のユタ州南部にある「ホルトファーム社」です。

ポテト畑1枚からスタートし、現在は圃場部門、ヘイキューブ部門、酪農部門を運営しています。

ここでは規模の大小は別にして、各部門が連動してそれぞれが補い合うことでリスクヘッジに繋げ生産性の向上、企業が発展している事例を見学することができました。

他にアメリカ西海岸南部のサプライヤーを3社訪問して意見交換並びに視察を行いました。

本研修で訪問したどのサプライヤーも、天候等自然条件と戦いながら、購入者のことを考えた製品形態、品質管理に努めておりました。

最後になりましたが、今回の視察研修でお世話になりました全酪連関係者並びに酪農生産研究会の皆様、そして参加メンバー全員に感謝申し上げると共に、本研修に参加の機会を与えていただきました当組合の役職員、組合員の皆様に感謝申し上げます。

(酪農課　中村)

ロータリーパーラーのようす

先まで続くカウハッチの団地は圧巻でした

株式会社ブッシュクローバーズ竣工式が開催されました

2019年10月22日（火）、㈱ブッシュクローバーズの竣工式が多数の来賓列席のもと開催されました。新牛舎は搾乳・乾乳牛合わせて600頭収容可能で、搾乳施設は40頭搾乳することができるロータリーパーラーです。

午後は牛舎見学会として近隣の組合員さんや業者・関係者、地域住民の皆さんなどが見学に訪れ、皆さん広い牛舎や県内2例目のロータリーパーラーに真剣に見入っていました。

新牛舎での搾乳は10月29日より開始しており、県内外から初妊牛を導入し令和2年春に経産牛頭数580頭に到達する計画です。

テープカットのようす

2019 産直フォーラムin京都

2019年11月1日（金）、COOP牛乳産直交流協会主催の2019産直フォーラムが「こんにちはもーちゃん」をテーマに京都市にあるメルパルク京都にて開催されました。

昨年に引き続き消費地である京都での開催となり、当組合からは小前組合長、平野専務をはじめ、青木理事、中原理事、長谷川理事、山下監事、吉田裕美さんと販売部職員、京都営業所職員が参加し、総勢200名を超える参加者のもと、鯰江会長（京都生協　常務理事）の開会挨拶により産直フォーラムがスタートしました。

まず初めに、生産者からの報告では「吉田さん家の1日&絵本こんにちはもーちゃん発刊の思い」と題して、生産者でもあり絵本の著者でもある吉田裕美さんから動画を踏まえて生産者の取り組みや苦労話、また絵本「こんにちはもーちゃん」に込めた思いや制作秘話等について、お話をしていただきました。報告の最後には吉田さんから絵本の朗読（読み聞かせ）もあり、参加者一同とても興味深く耳を傾けていました。

続いて、販売部 堀部長より大山乳業の取り組み報告として今年の4月から本格的に運用開始となった「白バラ認証制度」についてパワーポイントを使いながら、より分かりやすく説明をしていただきました。

その後、各会員団体からの取り組み報告として鳥取県畜産農協から㈱美歎牧場職員の加嶋さん、鳥取県生協から向副理事長、大学生協からは学生事務局の近藤さん、コープしがからは彦根センター組合員担当の小川さんより、それぞれ報告をいただきました。いずれの報告も生産者側および消費者側からのそれぞれに対する想いが伝わるものであり、参加者もしっかり理解を深めることができたと感じました。

白バラ認証制度紹介のようす

参加者に報告を行う吉田さん

最後に小前副会長（当組合代表理事組合長）が、「来年はCOOP牛乳産直交流協会が発足して30年となります。これからも鳥取の牛乳と牛肉をたくさんご利用していただき、産直の絆をさらに深めていきましょう」と閉会挨拶で締めくくられました。

閉会後に行われた抽選会では、小前副会長が引いた番号札と同じ番号札を持っている10名の方に絵本「こんにちはもーちゃん」がプレゼントされました。当選した10名の方には吉田さんから直接絵本が手渡され、皆さんとても喜んでおられました。

この度の京都での産直フォーラム開催にあたり、ご準備いただきました事務局をはじめ関係スタッフの皆さまに厚くお礼申し上げます。

抽選会では吉田さんから絵本が手渡されました

輸入粗飼料の情勢

品　目	今後の改定要因			特　記　事　項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	2020 年 1 月から重油に含まれる硫黄に対する環境規制が始まる。多くの船社で 10 月から L ow Sulphur Compliance Charge(LSFCC) の導入が通知されていたが、具体的な上昇幅はまだ不透明である。どの船社も LSFCC の導入を機に運賃の見直しを通知してくる可能性がある。
ビートパルプ	→	→	↑	ミシガン州の単収予想は、上方修正されているが、過去 5 年平均よりも下回る見込みである。ミネソタ州及びノースダコタ州の北部及び中部では、単収は過去 5 年平均と比べ同レベルかやや増加と見込んでいる。ミネソタ州中南部では、単収は例年並みで作付面積は昨年よりもやや減少している。
スーダングラス	→	→	↑	10 月 15 日時点の作付面積は前年同期比 72%となっている。 チモシー相場の軟化を受け、スーダンの相場も概ね旧穀比弱含みで推移したことから一部の生産農家の生産意欲が減退、 1 番刈でスーダンの生産を中止し、2 番刈の生産を行わない圃場が予想以上に増えた。
アルファルファヘイ	→	→	↑	オレゴン州南部クラマスフォールズでは、4 番刈が 10 月中旬で終了している。3 番刈は、約 50%で変色が見られるが、その他の品質に関しては概ね例年並みとなっている。4 番刈は、米国内からの需要が強く現地では高値で取引されている。オレゴン州中部クリスマスバレーでは、約 50%で変色や刈遅れが見られ、良品は限定的となっている。上級品に関しては米国内からの需要が強く他産地と同様に高値で取引されている。
USチモシー	→	→	↑	2 番刈は、殆どの圃場で降雨による被害を受けており、上級品の発生率は 10%以下と非常に限定的となっている。このため乳牛向けだけではなく、馬向け・ペット向けからの引き合いも強く上級品は高値で取引されている。
カナダチモシー	→	→	↑	レスブリッジ地区では現在 2 番刈が終盤を迎えているが、不安定な天候の影響で圃場での乾燥調整に時間を要していることから、今後収穫されるものの多くは低級品になると見込まれる。産地相場については、上級品の発生が期待よりも少なく、需給にやや逼迫感が出てきていることから、発生量の少ない上級品の価格は強含みに推移している。クレモナ地区の収穫期序盤は天候に恵まれ上級品が多く生産されたが、その後は、中級品以下の発生が中心となった。
オーツヘイ	→	→	↑	豪州全体では総じて現時点まで収穫期間の天候に恵まれ、見た目も成分は上級品レベルのものが多く発生している。一方、中～低級品の発生は少なく、年間通じての供給余力がないため、オーツヘイ単体での出荷ではなく、オーツヘイの上級品とウィートストローをブレンドしたものを代替として使用せざるを得ない可能性が高まっている。新穀価格は軟化すると予想されていたが、生産量が予想よりも少なくなりそうな状況に加え、新穀直後の輸出向け需要が堅調であることから、当初の期待ほど産地相場が軟化せず旧穀と変わらない価格帯になる可能性も出てきた。
クレイングラス	→	→	↑	10 月 15 日時点の作付面積は前年同期比 111%となっている。日本および韓国からの需要は引き続き堅調なため、産地相場については大きな変動なく昨年に比べ高値で推移している。 韓国では直近の国内在庫が一時的に過多になっており、11－12 月の輸入量はやや少なくなる見込みだが、年明けに輸入枠（クオーター）が更新されると需要は戻るとも言われている。
ストロー類	↑	→	↑	今年は総じて雨当たりのない良品の発生は限定的となった。9 月から 10 月にかけて襲来した大型台風は、日本および韓国双方において稲わらなどの自給飼料の生産に影響を及ぼしている。収穫後の自給飼料の在庫に被害を受けてしまった生産者もおり、代替として米国産ストローへの需要が高まりつつあるため産地価格は上昇している。

大山乳業農業協同組合 からのお知らせ
Dainyu Information

理事会だより　令和元年10月21日理事会にて次の議案が決議されました

【10月21日提出議案】
第１号議案　９月末経営検討について
第２号議案　職制規程、職務権限表の一部変更について
第３号議案　固定資産の取得について
第４号議案　営業所の閉鎖について

異動辞令等　下記の通り異動辞令が発令されました

異動辞令（令和元年11月11日付）

（所属及び役職）	（氏名）	（旧所属及び役職）
総務部		
総務部付　課長補佐	中村　廣文	津山営業所 所長

異動辞令（令和元年11月21日付）

（所属及び役職）	（氏名）	（旧所属及び役職）
販売部		
東京営業所　係長	前田　享宏	営業課係長

退職（令和元年10月20日付）

（所属及び役職）	（氏名）	
販売部		
東京営業所　副所長（課長補佐）	山﨑　広文	ご苦労様でした

総務部　津山営業所閉鎖のお知らせ

この度、令和元年10月31日をもちまして津山営業所を閉鎖することとなりました。

今後の業務につきましては、本所販売部及び岡山営業所にて対応致します。

ご不便・ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

営業課　製品リニューアルのお知らせ

白バラシュークリーム（１個入）２品がリニューアル致しました。ご愛顧どうぞよろしくお願い致します。

11月９日リニューアル

白バラ牛乳シュークリーム
ミルク風味を豊かにするれん乳を増量しました。

白バラコーヒーシュークリーム
コーヒーの風味をアップした仕様へリニューアルしました。

物流課　直売所「カウィーのみるく館」定休日について

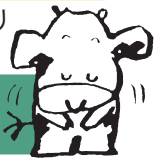
次回の定休日は　**12月12日（木）です**

大山まきば　大山まきばみるくの里 冬季休業について

たくさんの皆様、ご利用ありがとうございました

冬季休業
令和元年12月2日（月）より

尚、休業前日の12月1日(日)は通常通り午後５時まで営業致します。



ミルキーチケットをご利用予定の方は、お早めにご利用ください。

来季営業開始日は改めて酪農だよりに掲載致します

ホームページからのお声

■鳥取に出張したときに白バラコーヒーをいただきました。ちゃんと牛乳の味がして優しい味でした。美味しかったので普通の牛乳も買いました。美味しかった～。（神奈川県）

■県外の大学やコンビニにも商品が沢山売っていて、友達がそれらを飲んでくれてるのを見ていつも嬉しく思っています。私も商品を見つけると鳥取帰りたいなぁって恋しくなります。（鳥取県）

■これからも「白バラ」ブランドの大切な信頼できる美味しい牛乳を届けて下さい。（大阪府）

■牛乳はとても美味しいです。いつも買っています。白バラコーヒーも大好きです。バターもとても美味しくて常備しておきたいくらいです。（岡山県）

■カップのアイスクリームを毎年夏に食べます。妻や子どもたちが「白バラ美味しい、美味しい」といって食べてくれて幸せな気持ちになります。（鳥取県）

■先日、大山乳業の生産者の方とお話しさせていただく機会がありました。白バラ牛乳の基準をみたすには厳しい規定を守り、検査に通る必要があることを知りました。ものすごい手間と愛情をかけて、わたしたちの食卓に届けてくれていることを知り、白バラ牛乳への愛着がより湧きました。（京都府）

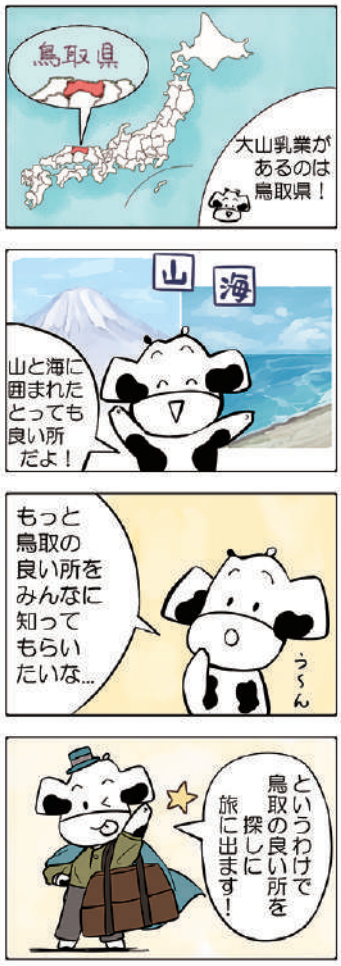
4コマ漫画

カウィーのエブリディ！

COWI'S Everyday

さく：福井チーフ　え：堀江あかね

カウィー旅に出る



編集後記

みなさん、１日何回笑っていますか?笑うと免疫力が高まり、強い体ができると言われています。栄養たっぷりの牛乳を飲んで笑って元気ハツラツ!もちろん白バラ牛乳で。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで

【email@dainyu.or.jp】

こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶

Dainyu-PICKUP!

あいサポートアートとっとり展へコラボグッズを協賛しました

2019年12月8日（日）より開催される障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」に大山乳業農協から来場者プレゼントとしてコラボマスキングテープを協賛しました。

この作品展は障がいのある人たちが制作した文化芸術作品を一堂に展示する展覧会で、出展者それぞれの感性や自由な個性が輝く作品の数々が展示されます。

作品展示のほかにも、元ＦＭ山陰パーソナリティーの影山さゆりさんのソロライブや手話ダンスパフォーマンスライブ、書家の金澤翔子さんの揮毫パフォーマンスなども行われます。皆さん是非ご来場ください。

詳細は http://aisupportten.jp/ または「あいサポート・アートとっとり展」で検索ください

コラボマスキングテープ

Dainyu-PICKUP!

大山の頂上を保護する会へ寄付金を贈呈しました

10月17日（木）小前組合長は大山町役場を訪問し「大山の頂上を保護する会」の会長 竹口大紀町長へ寄付金を贈呈しました。

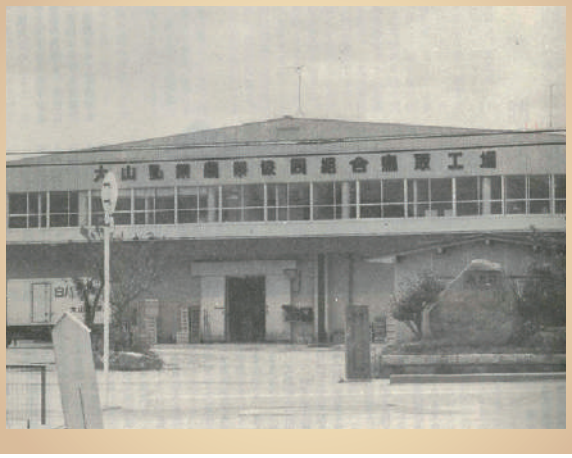
この寄付金は、9月29日（日）に大山まきばみるくの里を会場に開催された「第21回大山まきば祭」の売上の一部で、大山の環境保護などに活用されています。

小前組合長が大山まきば祭の報告と寄付金の贈呈を行い、竹口町長は「これからも大山町の畜産業振興に全力を尽くします」とお話されました。大山乳業農協は今後も、大山の自然環境保護へ積極的に取り組んでいきます。

寄付金贈呈のようす

あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回は昭和47年6月発行の酪農だより第125号。昭和46年に完成した大山乳業農協の鳥取工場を紹介しています。当時鳥取地方では唯一の市乳工場でした。

酪農だより vol.694

発行責任者／小前孝夫　編集責任者／平野 浩
印刷所／山本印刷株式会社　発行日／令和元年11月20日

大山乳業農業協同組合
〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211（代）FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp　E-mail:email@dainyu.or.jp